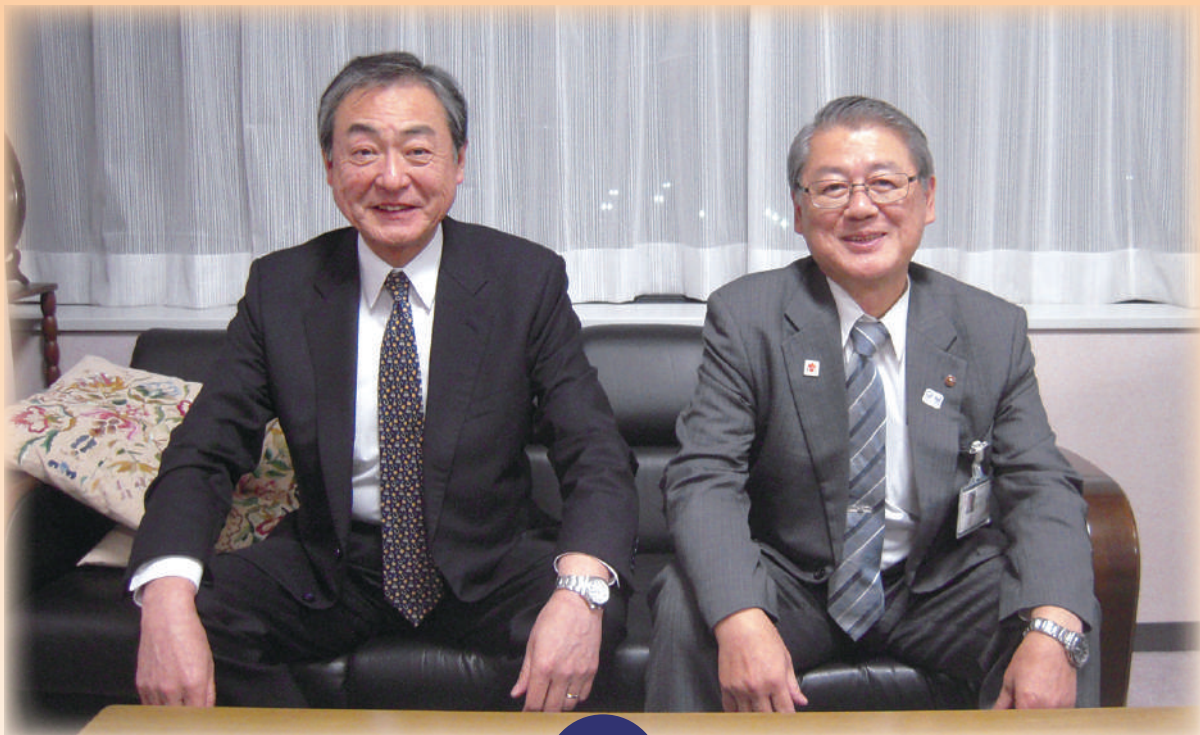


秋田県 高P連会報



No. 119

発行／秋田県高等学校PTA連合会 事務局／秋田市山王中島町1-1 秋田県生涯学習センター5F TEL018(863)6681 印刷／秋田中央印刷株式会社



秋田県高等学校PTA連合会

佐野 元彦 会長

対談

秋田県教育委員会

米田 進 教育長

佐野元彦会長と米田進教育長の対談が、平成28年11月8日（火）県庁第2庁舎の教育長室にて行われました。

「教育には、時代とともに変えていかなければいけないものと、いつの時代でも大切にしていかなければいけないものがある」と語るお二人の、“秋田の高校生”や“PTA活動”などに対する思いをお届けします。

秋田の高校生は爽やかです

【米田】 今の高校生は、あいさつをはじめ、積極的にコミュニケーションをとっていかうとする意欲もあり、爽やかな子どもが多いという印象です。おそらく小学校・中学校あるいはそれ以前の幼児からの教育の積み重ねがあるからでしょう。

また、地域で自分たちの力をいろんな面で発揮していることも素晴らしいですね。昔の高校生も、頑張る気持ちは持っていたと思うのですが、行動にはなかなか表れていなかったような気がします。今、コミュニケーションの力が重視されていますので、子どもたちは総じてそのような力をつけてきていると思います。

私は、高校生のとき話をするのが下手で引っ込み思案でした。きっと、今、高校生であったとすれば難儀していたと思います。それだから言うの

ではありませんが、時代時代で求められる力というものは変わってきています。その中で、うまく対応できない子どももいます。そのような子どもたちにも、きちんとケアしていかなければなりません。

【佐野】 私もまったく同感です。特に秋田県の子供は健全だと思います。いろいろな学校を訪れると、廊下などですれ違うとき「こんにちは、おはようございます」ときちんとあいさつをしてくれます。

昔は、不健全といいますが、健全でないことをちょっとやることで大人になっていく、というような感がありましたが、今は、非常に健全。特に秋田県の子供はそうだと感じます。

また、教育長の話のとおり、昔と比べて今の高校生は、地域社会との繋がりを意識していると思います。自分が高校生であった頃を振り返ると、

同世代の仲間という狭い範囲の中で生きている感じでした。しかし、今の高校生からは、「私たちは地域の中で生きている」という思いを強く持っていることが伝わってきます。それは、秋田県の教育の成果といえるのではないのでしょうか。

さらに、地域では、自分たちの地域にたくましい若者がいることで地域の力といったものを実感しています。そういう意味では、高校生の活動には地域の要請もあると思っています。

秋田には『ふるさと教育』があります

【米田】 小6・中3生対象の「全国学力・学習状況調査」アンケート調査からしても、地域や社会のことに関心を持ったり、学校の決まりや規律を守るなどの質問項目では、「なるほど」という結果が出ています。部活動では、運動部文化部とも、日々の活動で、キャプテンや部長がリーダーシップを発揮し、礼儀正しく活動を行っている様子がみられます。

子どもたちは、しかるべきところでしっかりとやっていますね。小さいときからの家庭や学校あるいは地域での指導があつてのものです。

地域というとき、秋田には『ふるさと教育』があります。『ふるさと教育』とは、昭和61年度から取り組んできた「心の教育」の充実・発展を目指したもので、平成5年度より学校教育共通実践課題として推進、平成23年度「あきたの教育振興に関する基本計画」に継承され現在に至っているものです。

『ふるさと教育』の中で決して見逃していけないのが、「地域との関わり」です。「地域との関わり」とは、「そこにいる人たちとの関わり」です。子どもたちは、いろんな人との交流を通して多くのことを学んでいます。また、先生方も積極的に地域に入っていくています。

昭和40年代に高校生であった私は、「ふるさとに関心を持ちましょう、愛着を持ちましょう」「将来ふるさとを支えていきましょう」といった指導を受けた記憶がありません。だから恥ずかしいことに、自分のごく限られた行動範囲の中での記憶は残っているけれども、そこを超えた地域のことや県内のことについては何も知らないでいました。

今は本当に変わりました。子どもたちは、自分の身近なところから始めて県内のいろいろなことを勉強しています。“ふるさと秋田”が子どもたちの中でどのような位置・ウエイトを占めていくか、20年後30年後どこにいてどのように秋田を支えていくのか、関心がありますね。

【佐野】 冒頭に、「秋田の子どもは健全である」と話しましたが、それは確かに『ふるさと教育』に拠るところが大きいと思います。

「私たちは地域に育てられている」とか、「私たちは地域を代表している」といった誇りともいえるものを、子どもたちは源泉に持っていると思うのです。だから、恥ずかしいことや滅多やたらなことはできない、といった気持ちがあるのではないのでしょうか。そういった意味で教育の力は本当に大きいです。

【米田】 そうですね。子どもの頃に身に付けた

ことはそう簡単にはなくならないし、何をどのように身に付けたかということは大事です。

今の子どもたちは、いろんな角度から指導されていて恵まれていると思います。もし、私が今の子どもたちのようにいろいろな経験をしたり教わったりしていれば、随分と変わっていたかなって思うときがあります。(笑)

しかし、その一方で自由に好きなことをやるという経験、例えば土に触れて野山を駆け廻ったり、時にじっと虫を眺めていたり、といった経験は少なくなっているのかもしれない。もし、バーチャルな世界に浸って、何時間も過ごしている子どもが増えていくようなことがあるとすれば、自然の中に出て自然と関わっていくように仕向けていきたいですね。

いずれ、今の子どもたちは、教育を受ける良い環境にいると思います。親御さんや先生そして地域の方々からいろいろな機会が与えられ、豊かな経験ができていますのですね。

【佐野】 20年30年後、今の子どもたちが親の世代になったとき、今とはまったく違った日本の社会になっているかもしれません。しかし、人間の本性はそんなに変わらないような気がします。

【米田】 『ふるさと教育』は、高校でも進められています。高校としての地域でのあり方といったものは小・中学校の先生方が考えるより難しい面があることは確かですが、高校生だからその地域連携の取り組みを期待しているところです。

【佐野】 成長段階に応じた取り組みが大事になってきますね。

小学生や中学校の低学年段階だと「ふるさとの良さを知る」ことから始まるのでしょけれど、中学校の高学年や高校生になると「地域の課題にどう向き合っていけばいいか」というような内容に変えていくべきだと思っています。生徒たちは、地域やふるさとのことを知り、良さや課題に気づきます。その課題に対して、「一体自分たちは何ができるだろうか」と思考を広げ深化させていく。成長段階に応じて問題意識を変えていくことが大事だと思います。

高校が所在する地域の課題は、自分の住んでいる地域の課題でもあつたりしますので、地域課題解決型のキャリア教育とかアクティブラーニングに高校生が取り組むのも良いと思っています。



〈米田 進教育長プロフィール〉

昭和26年生まれ。昭和51年から秋田高校講師、教諭を経て、県教育センター、県教育庁高校教育課指導主事、平成7年大曲高校教頭に就任後、平成9年から教育庁高校教育課へ。平成13年から海洋技術高校長、秋田南高校長、秋田北高校長を歴任。平成23年から県教育委員会教育長。平成28年から新制度による県教育長に任命され、現在に至る。

失敗を恐れずどんどんトライしよう

【米田】 高校生は、課題意識を持ち具体的な提案・意見を述べる力は十分にあります。その力を更に発展させるために、学校の中だけに留まらず地域や企業、あるいはいろいろな職業の方々の力を借り、いわゆる正解のない課題に取り組ませることは大事ですね。

学校では、教育的意図のもと、正解のある問題に取り組むことが多いし、正解を出すことで一段落してしまう面がどうしてもあります。しかし、人生の中での課題は、一つしか正解がないというものではなく、幾通りもありうることを意識させていきたいですね。加えて、いろいろな観点から考えを深めていくためにグループで話し合うことは大事です。一人で考えるだけでは幅が広がりませんし、限界があります。

本県では、「問う」ことを通して自ら学んでいくことをねらいとした「問いを発する子ども」の育成を重視しています。「問う」ことは、「学ぶ」こと。「問いながら学ぶ」ということを大事にした「学び合う授業」が行われています。高校でもそのような取り組みを充実させていけば、素晴らしい「学びの場」が作れると思います。教科書の学習だけではなく、教室の学びが外の世界とどのような繋がりを持っているかを意識することは大事ですね。

【佐野】 その通りですね。学んでいることが、自分の人生や社会とつながっていることを実感することは大事です。地域と学校の関係も、そのようなことをやることで、win-winの関係になってきます。保護者や同窓生、地域など学校外の様々な方の力を借りて、高校生が考えるだけだと終わるのではなく、実際に行動させてみるまでサポートしていきたいものです。

金足農、秋田工、秋田商の“17歳の6次産業化”や秋田北鷹高家庭クラブの“ししとうカレー”など、近頃は多くの学校で、生徒たちが自ら企画し、制作に携わり販売する活動が行われています。一連の取り組みの中では、行き詰まったり失敗したりすることもあります。「考えて試す」ことの繰り返しですが、そのことが大事だと思うのです。人生はまさに試行錯誤の連続です。高校生には、失敗を恐れずどんどんトライしてもらいたいです。

【米田】 「間違ってもいいんだ」という場を与えて実践させる。失敗する経験はとても大事ですね。さらに、何をやるにしても決して一人ではない必ず他の人と関わっている、ということをしつかりと高校で教えることも大事です。

【佐野】 会社では、チームで仕事をするとき皆が同じことをやっているわけではありません。それぞれの役割があります。不得意な人に対しては得意な人が助けるなど、お互いそれぞれの力が発揮できるよう協力し合っています。できる役割はたくさんあります。

【米田】 表に出ないところでも多くの人が関わり支えてくれている、ということは意識させたい

ですね。誰か一人がヒーローということではなく、陰で頑張った人たちも含め、皆がヒーローであると思います。いわゆるアンサンブルヒーロー（Unsung Hero）です。

新日鐵住金社長の進藤孝生さん（秋田高卒）の言葉を借れば『オナー・イズ・イコール（Honor is equal.）』です。「トライをして得点をあげた人もパスをつないだ人もそれぞれ役割は違うが、チームに対する貢献度、そしてその榮譽はみんな等しい」というチームワークの神髄を表した言葉です。チームワークなくして仕事はできないという意味です。

また、グローバル化時代、子どもたちにいろいろな力を付けるために先生方も自らを磨き続けていかなければなりません。『学び続けること』が一つのキーワードです。先生方は、やらなければならないことが増えこそすれ、減ることはなく大変ですが、一生懸命やっています。

【佐野】 最近の先生たちは、忙しい中であっても、外のことを知ろうしたり、外の風に触れようしたり、学校外の方たちと意識的に関わりを持つようとしている様子が見られます。

頑張っている先生方への期待が高まるとともに、学校や先生方に対しての要求も多くなってきている気がします。

しかし、学校に一方的にお任せするだけでなく、PTAをはじめ関係者の皆さんの力を、学校と連携して発揮していくことが、子どもを育む上でこれからはますます必要になってくると思っています。

PTAの果たす役割は大きい

【米田】 そういう意味ではPTAが果たす役割は大きいものがあります。

最近では、PTA活動にコミュニティーのCを加えてPTCAといわれたりすることもあります。さらに、高校であれば生徒にもPTA活動に参加させていくことで自立心を育てたり大人との関わりを体験させる、ということも考えられますね。

【佐野】 家庭では、自分の子どもが健全にたくましく社会の中で生きていってほしいという願いがあります。先生たちも、その思いは同じだと思います。PもTも目指すところは一緒です。けっ



〈佐野元彦会長プロフィール〉

昭和30年生まれ。江戸時代創業の佐野薬局を母体とする株式会社サノ・ファーマシー代表取締役。また、秋田プロバスケットボール株式会社を設立し、代表取締役会長として地域スポーツ振興にも努める。他に、秋田商工会議所副会長、公立大学法人国際教養大学理事、公益財団法人秋田県育英会理事を務めるなど地域社会のリーダーとして活躍している。平成24年から秋田県高P連会長、平成26年より全国高等学校PTA連合会会長、現在に至る。

して、PTAが保護者だけの団体であってはなりません。そういう意味ではPとTは同志であることを確認できればと思います。

学校の経営方針だとか教育課程など、自分の子どもの学びや活動がどのような方針のもとで行われているのかを知らせ、親がそれを知る。つまり、情報をオープンにして共有するところから同志としてスタートするのではないのでしょうか。

【米田】 そうですね。閉じた状態ですと、中で何やっているのだろうか? となります。オープンにして一緒に考え、より良い方向性を見出していければいいのです。

【佐野】 その中で、これは家庭でやるべきことであるとか、このことは地域で関わらせて方が良い、などと話が広がっていく。そういう状況になると、PとTの相互理解がもっと進んでいきますね。

【米田】 「学校が変われば地域が変わる 地域が変われば学校が変わる」と言われたりもしますが、お互い待ちの姿勢で、相手だけに変わることを期待するのではなく、オープンに一緒に話し合うこと、お互いが変わっていくことは大事ですね。

先ほど、PTCAの活動と生徒の参加という話をしましたが、ちょっと語呂合わせを考えてみました。生徒のSを入れて…。ただ、母音が一つしかないんですね。そこで地域のCをエリアのAに変えると、PTASA。並べ替えると…PASTAができた。(笑)

その思いは、パスタでも食べながら、話し合ったり活動したり一緒に取り組んでいくこと。つまり、閉じた世界でなくオープンにして、いろんなところと関わり合っていくことが基本です。そのことを、もっと打ち出していかなければなりませんね。

【佐野】 「学ぶことはものすごく大きな力になる」ということは、自分自身の経験からも実感しているところです。子どもたちの『学ぶ場』を、先生方のご努力で提供いただいていることは大変素晴らしいことです。同時に、人を育てることは、社会総がかりで行っていかねばならないと思っていますので、『学ぶ場』としての学校を、そして先生方を、家庭・地域がきちんと支え、一緒になって将来を担っていく若者を育てていきたいものです。

【米田】 この前お亡くなりになられた、横手出身のむのたけじさんの著書『たいまつ』の中に、「人と人と出会うところすべて、誰かが先生であり誰かが生徒である」というのがあったように思います。多くの人と関わりをもって、いろいろなことをやっていくということは、お互いに学ぶことがあるのだから、双方にとってプラスになる。先生方は、周囲にいるたくさんの方々と関わりを持ち、そこでさらに大きな力を付けていく。そして、その力をまた子どもたちの教育に活かしていく。このことを基本にして大事にしたいですね。

方々と関わりを持ち、そこでさらに大きな力を付けていく。そして、その力をまた子どもたちの教育に活かしていく。このことを基本にして大事にしたいですね。

高校生の皆さんへのメッセージ

【佐野】 最近とみに思うことがあります。それは、“当事者意識を持った人”になってほしい、ということ。「自分には関係ない」とか「私は知らない」ではなく、「自分はこう思う」「私はこのように考える」などといった“当事者意識を持った人”に是非なってほしい。

高校生の皆さんは、これまでの学校教育を通して『学び合い』の取り組みをしてきました。そして、自らの考えを伝えていく力をつけてきました。皆さん一人ひとりの考えや思いは、掛け替えのないもので、当事者意識を持ち行動していくことは、相手に対しての思いやりでもあります。また、そのことは、民度の高い秋田県をつくることにつながります。

秋田県の人口が少なくなっていくとしても、民度の高い当事者意識を持った秋田県民や秋田県人になれば、きっと素晴らしい県になります。そのためにも、これからの社会で活躍していく皆さんには大いに期待しています。

【米田】 私からは高校生に対するメッセージとして次の3つをお伝えします。1つは、Anyone who has never made a mistake has never tried anything new. (キング牧師) つまり、「失敗したことのない人というのは何も新しいことに挑戦したことのない人だ」ということです。失敗は次のステップになるという気持ちで頑張ってください。CHANCEがあればCHALLENGEすること。そこからCHANGEが生まれます。

次は、Life can be understood backwards; but it must be lived forwards. (キルケゴール) これは「人生は理解するときは、(それまでを振り返って) 後ろ向きになるが、生きるためには前向きにならなければならないものだ」ということです。人生、二度と同じ瞬間を生きることはできません。「今」を大切にして、人生を前向きに生きてもらいたいものです。そして最後は、「他(人)のために、今、自分は何をしているのか、ということをお互いに問い続けてほしい」ということをお願いしたいと思います。高校生の皆さん、The future is yours. (未来は皆さんのものです)





柏市立柏高校吹奏楽部の歓迎ステージ

第66回全国高校PTA連合会大会 千葉大会

平成28年8月25日(木)～26日(金) 千葉市

『再発見!愛』～今こそ信じよう愛の絆～をテーマに、全国高P連千葉大会が8月25日・26日に幕張メッセを会場に開催されました。

開会式において、PTA活動に功績のありました個人や団体に全国高P連 佐野元彦会長より表彰状が授与。秋田県からは次の皆様が表彰されました。

全国高P連会長表彰

- 個人 村岡 昇氏
(県高P連前副会長、大館国際情報高校前PTA会長)
- 佐藤 義一氏
(県高P連前副会長、角館高校前PTA会長)

- 団体 大館国際情報学院高校PTA
- 雄物川高校PTA



あいさつする全国高P連 佐野元彦 会長

さて、大会において基調講演では「高校生の自立を支援するPTA活動」と題して千葉敬愛短期大学 明石要一学長より「高校生はミーティングが出来ない。物事を決められない。だからこそ放課後を大切に、地域と共に体験活動を沢山させてコミュニケーション能力を育てよう。」と力強いお話を頂きました。また千葉県出身の女優 市原悦子さんによる演劇との出会いのお話とグリム童話の朗読では大きな感動を頂いた公演でした。

全国的に少子高齢化が加速する中、地域における子どもと大人の交流の場も減少し、コミュニケーションの多くがSNSを介したものに変わしつつあります。一方で「学校」は、集団で学び合う場として、相手の表情から心情をくみ取り、関わることで人間らしい豊かな『絆』が生まれる場でもあります。人と人との「ふれあい、関わり合い、つながり」の大切さを再発見し、大きく変化する社会の中で不安を抱えて生きてゆく子ども達を支えるために何が必要か、房総の地で1万人の参加者全員が原点に立ち返って『愛』の大切さを再確認できた大会となりました。

調査広報委員 成田 淳子(秋田北鷹)



受賞された皆さん(右から)村岡昇さん(大館国際情報)、佐藤義一さん(角館)、芦沢有紀子さん、伊藤胡子先生(雄物川)



全国各地推薦の広報誌展示

第29回 母親会員交流会

あきらめない心、分かち合う心、強く生きること

平成28年9月14日(水) 秋田県生涯学習センター 講堂



母親会員 交流会を終えて

今年は、青森県出身のシンガーソングライター板橋かずゆきさんを迎えトーク&ライブを行いました。3歳の頃から全盲になり、つらい体験を乗り越えてきた板橋さんの歌は力強く真っ直ぐ心に届き、まるで自分への応援歌のようでした。「見えないことで歌に出会えたから親に感謝」「いつまでも自分らしく生きていく」等、終始にわたって前向きな言葉が散りばめられ、会場は涙と感動に包まれました。大間ジローさんの飛び入りトークもあり、おいしさ倍増のひとときでした。この余韻の中グループ討議も盛り上がりました。参加者の晴れやかな表情を目の当りにし、会の成功を感じると共に、自分らしく悔いなく生きて行こうと、心はずでに歩き始めていました。

県高P連副会長・母親委員長 山信田 勢津子(横手)



板橋かずゆきさん、たくさんの感動をありがとうございました。



花に託した思い

板橋さんて、どんなギターを弾き、歌を歌ってくれるんだろう？そんな想像をしていたら、会場みんなと一緒にリズムをとり、口ずさんでいる、そんなあたたかい風景が思い浮かびました。ステージを盛り上げ、後押し出来たら、そんな気持ちを花に託した当日。カーネーションや赤い実が♪となり、五線譜の上にポンポン飛び出し音を奏で、蝶ネクタイにタキシード姿のガーベラの花が声合わせ歌い、その手はしっかりと結ばれ、繋がって、繋がって。

PTA会員の厚い熱い思いの、確かなる前進を願いつつ、生けさせて戴きました。この機会に、感謝です。

母親委員 後藤 孝(湯沢)



トーク&ライブに彩を添えた後藤さんの作品



「愛」あふれる母たち

盲目のシンガーソングライター板橋かずゆき氏のトーク&ライブで始まった今年の「母親会員交流会」。生きる喜び・希望・勇気を歌にして私たちの心の奥深く感動を与えた優しい歌声。その陰には時には優しく、時には厳しく彼を育てた強い母の姿がありました。

グループ討議では現役子育て母たちの一生懸命で熱い思いが次から次へと溢れ出てきて時間が足りない…泣いたり、笑ったりと大忙しのひと時でした。

初めて会った母同士がここまで盛上がるのは「子育て」の仲間であり、愛情いっぱい母だからですね！

西目高校PTA会長 浅野 敏子



グループ討議では、それぞれの思いを語り合いました。

県北地区

平成28年10月6日(木)
旧料亭金勇・キャッスルホテル能代

能代西高校PTA会長 本庄 徹



中央地区

平成28年10月28日(金)
秋田ビューホテル

金足農業高校PTA会長 相澤 重範

地域とともに生きていくために ～現状認識と魅力再発見～

県北地区交流会は、“東洋一の木都”の栄華を今に伝える国登録有形文化財である旧料亭金勇2階の110畳大広間で開催されました。



金勇110畳大広間での交流会

開会式のあとの講演では、藤里町社会福祉協議会会長の菊池まゆみさんから、地域創生として独自の取り組みについて話していただきました。藤里町の孤立している若者支援から始まった「ひきこもり者等支援事業」、その後一人の不幸も見逃さない運動を主軸にした「トータルケア推進運動」、そして次世代の担い手づくりとして弱者でも担い手になれる地域創生への変遷を、事例をまじえて分かり易く紹介していただきました。その中で、支援を受ける方々の悲しさ悔しさ、特に子どもや青少年はかなり傷つきやすいことが良く理解できました。

開会式後は、天井の一枚板が見事な1階中広間からガイドの方に続いて施設見学を行い、囲碁の本因坊戦が行われた2階大広間に戻り、名工たちの技を堪能しました。

教育懇談会は、キャッスルホテル能代に場所を移して、意見交流や能代西高産の酒米で作った「西の恵豊(めぐみ)」で盛り上がり、閉会後も夜遅くまで交流は続きました。

最後に、多くの方々にご協力・ご支援いただき、誠にありがとうございました。

地域と連携したキャリア教育のために今、PTAは ～秋田をより鮮やかに、より元気に～

中央地区交流会は10月28日、秋田ビューホテルを会場に132名の参加者を迎え、開催することができました。

開催にあたり、本校PTAでは1年前より開催日・会場・研究課題などの選定を行い、今年度に入ってから、定期的に会合を持ち、準備してきました。最終打ち合わせでは、当日の役割分担や進行表の確認など、当日への緊張感が増してきましたが、本校PTAの副会長はじめ多くの会員が協力してくださり、励みになりました。

当日は、細かい不手際はありましたが、来賓のご祝辞、講師の方々の熱意あるすばらしいご講演によって無事、交流会を終えることができました。「地域と連携したキャリア教育のために今、PTAは～秋田をより鮮やかに、より元気に～」という大きなテーマのもと情報を共有できたこと、また、その連携の大切さを確認できたことが最大の収穫であったのではないかと思います。

今回、開催にあたり、ご後援・ご支援そして参加いただいた皆様に深く感謝申し上げます。



パネル討論会(右より)

荒谷紘毅氏(秋田移住定住支援センター理事長)
水野勇気氏(秋田プロバスケットクラブ代表取締役社長)
佐々木吉和氏(むつみ造園土木会長)

県南地区

平成28年9月30日(金)
湯沢グランドホテル

湯沢翔北高校PTA会長 富谷 俊一

地域を担う子どもたちを育てるPTA活動

県南地区交流会を9月30日(金)に行いました。月末の金曜日にもかかわらず沢山の参加者を迎えて開催することができました。開会式後「ジオパークでゆざわを元気に!」と題して、大分県大分市生まれで、現在湯沢市で「ゆざわジオパーク」専門委員として活躍されている山崎由貴子氏に講演をして頂きました。ジオパークとは、直訳すればGEO:大地 PARK:公園です。また、岩石についての話をされましたが、なかなか面白さが伝わらないと嘆いておりました。

講演後は、分科会が各高校のPTA会長からの提言をもとに進められました。第一分科会は「高校生の地域社会貢献を支えるPTA活動の在り方」、第二分科会は、「地域社会の安全・安心を守るために出来ること」、第三分科会は、「子どもの進路実現のための家庭の役割」とそれぞれ各分科会とも活発な議論、意見を交わされ盛大な会となりました。中でも一番の悩みは、PTA役員会を開催しても人が集まりにくいとのことでした、どうやったら参加してくれるのか、といったところまで議論が交わされました。今回参加していただきました皆様方に感謝申し上げます。ありがとうございました。



山崎由貴子氏講演の一場面

委員会活動報告

総務委員会

「教育懇談会に参加して」

総務委員長 渡部 羊三 (秋田南)



教育懇談会の様子

去る11月16日秋田市の生涯学習センターにて秋田県との教育懇談会が開催され参加いたしました。今回のテーマとして、「貧困問題について」「インクルーシブ教育について」「18歳選挙権の学校の対応について」「いじめ問題について」が取り上げられ、県の担当者の方々から丁寧な説明を頂き、その後参加者からの質疑応答がなされました。

特に貧困の問題については、現状理解と課題に時間を割きました。PTAとして考えさせられるものがありましたし、これから可能と思われるアクションのヒントが得られた気がいたします。保護者のネットワークと地域で子どもたちを育ててというのがキーワードになるように感じました。それぞれのテーマについて学校の対応を理解することで、次のステップを考えるきっかけになったのではないかと感じました。しかしながらテーマが多く十分な質疑応答ができなかった部分もあり次年度の課題となりました。県の担当の方々の真摯な対応に触れることができ貴重な体験となりました。私自身、学校とのコミュニケーションをさらに強め、今回挙げられたテーマについて一歩でも前に進めるべく努力する所存です。

健全育成委員会

「子どもを守る責任」

健全育成委員長 木村 昌永 (秋田北)



講師の伊藤一彦氏

10月22日(土)秋田県生涯学習センターにおいて、第2回合同委員会に先立ち、健全育成委員会事業の研修会を開催致しました。「高校生の事故防止について」というテーマで、秋田県教育庁保健体育課・防災教育安全班副主幹の伊藤一彦氏から講話をいただきました。

主な内容は、最近増加している自転車の加害事故とインターネット犯罪の原因と防止についてです。そもそも自転車は歩道を通ってもよいのか？自分の子どもがどんなインターネットを使っているのか？など、保護者として漠然としか知らなかったことを専門家から話を聞くことが出来た貴重な機会でした。

自転車の安全利用としては、①自転車は車道が原則、歩道は例外。②車道は左側を通行。③歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行。④安全ルールを守る。(二人乗り、並進の禁止。夜間はライト点灯。交差点の信号遵守と一時停止。乗りながらの携帯操作の禁止)です。

加えて、交通事故を起こして相手がケガをした場合、刑事上の責任、民事上の責任、道義的な責任が発生することもわきまなければなりません。

また、ネット犯罪から子どもを守るために保護者ができるポイントとしては、①適切にインターネットを利用させる ②家庭のルールを子どもと一緒に作る ③フィルタリングを設定する です。

今後も、健全育成委員会として、更に交通安全の推進と犯罪防止に努めて参りたいと思います。



全県各校から参加されたPTA会長の皆さん

調査広報委員会

「特色ある広報紙を」

調査広報委員長 石嶋勝比古(能代工)



より良い広報紙をめざして質問も具体的でした

広報紙には、「普段見聞きすることのない隠れた情報を発信することや、歴史をひもとく貴重な記録誌にもなること」など、単にその組織の活動内容を周知するだけではなく、いろいろな役割があることを再認識させられました。

読者の側から編集する側へと立場が変われば捉え方が大きく変わります。

今後、委員会として“冊子”作りの手助けとなるような情報を提供し、レベルアップに繋がる取り組みを進めたいと考えています。

それぞれの高校にふさわしい“特色ある広報紙”が増えることを期待し…

前年、東北地区高P連“広報紙コンクール審査会”に立ち会う機会がありました。そこで感じたのは、他県の広報紙に比べ秋田県は少々見劣りしていることです。各高校にそれぞれの事情があり、思うように取り組めない点を考慮したとしても物足りなさを覚えました。

このようなことから、今年度で4回目となる本県の「広報紙編集研修会」が始まったものであろうと思います。9月に行われた研修会には、各高校で広報紙の制作に携わるPTA役員や教諭ら22名が参加し、秋田魁新報社編集局制作センター長の藤原謙氏から講演をいただき、紙面作りのポイントやknow-how(ノウハウ)を学びました。



講師の藤原 謙 氏

—平成28年度 秋田県高P連 広報紙コンクール—

広報紙コンクールの審査会が、平成29年1月14日(土)生涯学習センターにて行われました。平成28年1月から12月までに発行されたPTA広報紙を対象にしたもので、今回は15校の応募がありました。

審査は、外部審査員に藤原謙氏(秋田魁新報社編集局制作センター長)、猪股悟氏(秋田県生涯学習センター所長)を迎え、県高P連調査広報委員があたりました。詳しくは次号に掲載しますが、審査結果は次のとおりで、最優秀賞の1紙、優秀賞の2紙は2月9日(木)・10日(金)、秋田市で開催される東北地区コンクールに推薦されました。また、受賞の15校は、平成29年度高P連総会にて表彰されます。



横手清陵学院PTA会報「まなざし」

最優秀賞

・横手清陵学院高等学校

優秀賞

・本荘高等学校 ・秋田美大附属高等学院

優良賞

・天王みどり学園
・ゆり支援学校(外部審査員賞)
・秋田和洋女子高等学校

奨励賞

・男鹿海洋高等学校 ・秋田高等学校 ・新屋高等学校
・秋田明德館高等学校 ・本荘高等学校定時制課程 ・矢島高等学校
・仁賀保高等学校 ・大曲農業高等学校太田分校 ・大曲高等学校

編集後記

多くの皆様からのご協力をいただき、秋田県高P連会報の119号を発行することができました。

今回、佐野会長と米田教育長の対談が実現しました。お忙しい中でしたが、お二人からは快くお引き受けいただきました。秋田の高校生への激励やPTA活動に対する期待など、熱き思いが伝わってきます。また、全国大会や母親交流会、地区交流会、各委員会活動の様子をお届けしましたが、いかがだったでしょうか。

今後もPTA活動に関する情報や提言などを紹介し、各校PTA活動の一助となる会報を目指していきますのでよろしくお願いいたします。お忙しい中、貴重な原稿をお寄せくださいました皆様には、あらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。

調査広報副委員長 岩谷淳志(秋田中央)、鈴木久(大曲工)

学部・学科構成

システム科学技術学部

(本荘キャンパス)

「システム思考」による
幅広い視野を持ち、
独創性に富むエンジニアを育てる。

機械知能システム学科 (80名)
電子情報システム学科 (80名)
建築環境システム学科 (40名)
経営システム工学科 (40名)

生物資源科学部

(秋田キャンパス、大湯キャンパス)

最新テクノロジーで追求する、
人と生物資源との「共生」の
新たな可能性。

応用生物科学科 (40名)
生物生産科学科 (40名)
生物環境科学科 (30名)
アグリビジネス学科 (40名)

～在学生から～



システム科学技術学部
経営システム工学科2年

千葉 冴子 さん

出身高校：秋田県立本荘高等学校

秋田県立大学は、少人数教育であるため、分からないことをすぐ解決することができ、専門的なことを学ぶのに適していることが魅力です。先生方との距離が近く、講義でも学生の発表の場が多く設けられており、学習意欲の向上に繋がっていると感じています。また、私が在籍している経営システム工学科は、理系でありながら、企業経営のためのデータ管理などについても学ぶことができます。

入学してから一番印象に残っている授業は、環境科学という講義で、講義名の通り環境と科学の関係性について学ぶものです。技術の進歩が環境へ影響を及ぼしているということは周知の事実ですが、それには様々な原因があり、環境と科学のどちらを優先すべきなのかということについて考察したことが印象に残っています。

秋田県立大学は、1年次から専門科目を勉強でき、3年次以降も教養科目を学ぶことができるクサビ型カリキュラムに加えて、学生自主研究もあるため、自分が興味を持ったことを存分に学ぶことができる大学だと思います。学生へのサポートも充実しており、安心して大学生活を送ることができると思います。



生物資源科学部
生物環境科学科3年

賀川 正也 さん

出身高校：秋田県立十和田高等学校

生物資源科学部は、先生方が優しく、学生一人ひとりに目を向けてくれることと、フィールドワークが充実しているということが魅力だと感じています。特にフィールドワークに関しては、河川で水を採取したり、畑に穴を掘って土壌を採取したり、山に登ったり、湖の水を採取したりと、実際にフィールドに出てさまざまなサンプルを採取し、それを実験に使用するという一連の流れが大きな魅力だと思います。

また、水質汚濁が問題となっている秋田県の八郎湖の水質を、どのようにしたら改善できるかを学ぶ授業が、とても面白くてためになりました。さまざまな水質改善手法の中から、効果的な方法を見つけることは非常に難しかったものの、どのような方法が有効かを自分なりに考えながら、能動的に学ぶことができました。

秋田県立大学は、実験設備、職員の皆さんのサポート、学生自主研究制度など、あらゆるものが充実しています。また、学生の人数が少なく、全員に目が届くため、先生方からはとても手厚く、熱心に指導していただけます。

知っていますか県立大学のこんな制度

入学生特待生制度

本学に入学した秋田県内高等学校等卒業(修了)者で、大学入試センター試験得点率が本学の定める基準を満たした者は、4年間授業料相当額の奨学金が給付される制度です。(毎年4月に、前年度の成績によって給付が継続されるか判定されます。)

秋田県立大学10周年記念奨学金

平成23年度から平成32年度の10年間、秋田県内出身学生に対する経済的支援として実施する奨学金です。右に掲げる対象者1人当たり20万円を給付します。ただし、奨学金の給付は同一学生について学部及び大学院を通して1回のみになります。

〈対象者(年間17名を上限とする)〉

1. 秋田県内高校を卒業し、申請時に在学している正規生
2. 学業を継続することに経済的困難が認められる者
3. 本学が定める成績基準を満たした者

学校法人 日本赤十字学園

日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学



「生きる」を支える人になる

日本赤十字秋田看護大学 日本赤十字秋田短期大学 入学試験日程

看護学部看護学科

一般入学試験
(大学入試センター試験利用)

平成29年
2月11日(土)

介護福祉学科

一般入学試験
●大学入試センター試験利用以外の場合
●大学入試センター試験利用

平成29年
2月11日(土)

自己推薦入学試験Ⅰ 平成29年2月27日(月)

自己推薦入学試験Ⅱ 平成29年3月13日(月)

※詳細については、本学ホームページをご確認ください。なお、学生募集要項が必要な方は、本学ホームページからテレメールにて取り寄せることができます。

2017 OPEN CAMPUS

春のオープンキャンパス
2017

3/18 Sat 10:00~13:00

日本赤十字秋田看護大学

看護学部 看護学科

●4年制/男女 ●入学定員100名
初年度学納金 1,750,000円(H28)

取得資格

- 学士(看護学)の学位
- 看護師国家試験受験資格
- 保健師国家試験受験資格※
- 助産師学校受験資格

※平成25年度入学生より選択制・定員制(50名)になりました。

取得可能資格

- 日本赤十字社救急法救急員
- 日本赤十字社健康生活支援講習支援員
- 日本赤十字社幼児安全法支援員

※上記資格は日本赤十字社が独自に定める資格です。

目指す
ビジョン

看護師
になりたい

保健師
になりたい

海外で
看護の仕事
がしたい

誰かの
役に
立ちたい

いろんな
人と関わり
たい

赤十字ならではの充実した奨学金制度 (平成28年5月現在)

秋田、仙台、福島、武蔵野など全国69の赤十字病院の奨学金制度が利用できます。(返済免除あり)

平成27年度卒
卒業後の進路

- 【県内】 ●秋田赤十字病院 8名 ●秋田大学医学部附属病院 11名 ●秋田県立脳血管研究センター 5名 ●市立秋田総合病院 1名 ●医療法人博慈会 外旭川病院 1名 ●医療法人正観会 御野場病院 2名 ●独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)秋田病院 1名 ●横手市立大森病院 1名 ●独立行政法人国立病院機構あきた病院 2名 ●JA秋田厚生連 3名 ほか
- 【県外】 ●函館赤十字病院 2名 ●八戸赤十字病院 2名 ●盛岡赤十字病院 2名 ●仙台赤十字病院 3名 ●石巻赤十字病院 3名 ●福島赤十字病院 6名 ●さいたま赤十字病院 3名 ●日本赤十字社医療センター 1名 ●大森赤十字病院 1名 ●横浜市立みなと赤十字病院 3名 ●名古屋第一赤十字病院 1名 ●岩手医科大学 1名 ●独立行政法人国立病院機構 岩手病院 1名 ●岩手県医療局 3名 ●独立行政法人国立病院機構 花巻病院 1名 ●庄内医療生協 鶴岡協立病院 1名 ●公立刈田総合病院 1名 ●埼玉医科大学病院 1名 ●みさと健和病院 1名 ●朝霞中央総合病院 2名 ●東京都立墨東病院 1名 ●独立行政法人国立病院機構 災害医療センター 1名 ●東芝病院 1名 ●東邦大学医療センター 大森病院 1名 ●東邦大学医療センター 大橋病院 1名 ●国家公務員共済組合連合会九段坂病院 1名 ●日本私立学校振興・共済事業団東京臨海病院 1名 ●国立成育医療研究センター 1名 ●国立精神・神経医療研究センター 1名 ●昭和大学 振東豊洲病院 1名 ●医療法人社団明芳会 横浜旭中央総合病院 1名 ●昭和大学 横浜市北部病院 2名 ●聖マリアンナ医科大学病院 1名 ●神奈川県立こども医療センター 1名 ●千葉大学医学部附属病院 1名 ●東京歯科大学市川総合病院 3名

日本赤十字秋田短期大学 介護福祉学科

●2年制/男女 ●入学定員50名
初年度学納金 1,143,300円(H28)

取得可能資格

- レクリエーションインストラクター資格
- 日本赤十字社救急法救急員※
- 日本赤十字社健康生活支援講習支援員※
- 日本赤十字社幼児安全法支援員※

※上記資格は日本赤十字社が独自に定める資格です。

目指す
ビジョン

介護福祉士
になりたい

社会福祉
主事
になりたい

誰かの
役に
立ちたい

いろんな
人と関わり
たい

仕事で
社会貢献
したい

取得資格

- 短期大学士の学位
- 介護福祉士国家試験受験資格
- 社会福祉主事任用資格
- 大学編入資格

※卒業時に国家試験の受験が必要となります。

平成27年度卒
卒業後の進路

- 【県内】 ●特別養護老人ホーム 松涛園 ●特別養護老人ホーム こもれびの社 ●特別養護老人ホーム 大平荘 ●特別養護老人ホーム 河辺荘 ●特別養護老人ホーム すこやか横手 ●特別養護老人ホーム 山館苑 ●特別養護老人ホーム 金寿園 ●特別養護老人ホーム ひなた ●特別養護老人ホーム 松恵苑 ●特別養護老人ホーム 鶴寿苑 ●特別養護老人ホーム 鳥寿苑 ●特別養護老人ホーム 光峰苑 ●特別養護老人ホーム 花つみ ●介護老人保健施設 遊心苑 ●介護老人保健施設 八乙女荘 ●介護老人保健施設 千秋苑 ●介護老人保健施設 鹿角微笑苑 ●竹生寮 ●障害者支援施設 桐ヶ丘 ●障害福祉サービス事業所サンあぐる ●グループホーム遊宴秋田旭川 ●さとみ温泉ゆったり倶楽部 ●湯の越温泉デイサービスセンター ●社会福祉法人 秋田県民生協会
- 【県外】 ●泉大沢シニアタウン ●特別養護老人ホーム 瑞光園 ●サービス付き高齢者向け住宅 ゆうあいの街 ●グループホームあたご ●特別養護老人ホーム 日赤鷺鳴荘 ●レクロス広尾 ●株式会社フワポート



学校法人 日本赤十字学園

日本赤十字秋田看護大学 日本赤十字秋田短期大学

〒010-1493 秋田県秋田市上北手猿田字苗代沢17番地3 (秋田赤十字病院隣)

●ホームページアドレス <http://www.rcakita.ac.jp>
オープンキャンパス申し込み、資料請求は、ホームページからどうぞ

●入試に関するお問い合わせは **018-829-3759**





東北職業能力開発大学校附属
秋田職業能力開発短期大学校
TOUHOKU POLYTECHNIC COLLEGE AKITA

東北職業能力開発大学校附属秋田職業能力開発短期大学校
学務援助課 入試係

秋田県大館市字扇田道下6-1 〒017-0805
TEL.0186-42-5700 FAX.0186-42-5719

○ホームページで最新情報をご覧ください。
<http://www3.jeed.or.jp/akita/college/>



就職・進学決定率
100%

小グループ制による実学融合の独自の教育訓練方式とキャリア・アドバイザーによるきめ細やかな就職指導などで、就職と進学を合わせた進路決定率は平成22・23・24・25・26・27年度6年連続100%。修了生は、多くの企業で活躍しています。

生産技術科
PRODUCTION TECHNOLOGY COURSE



機械に多く触れスキルアップを目指す
定員20名

電子情報技術科
ELECTRONIC INFORMATION TECHNOLOGY COURSE



ハードとソフトの技術の融合を目指す
定員20名

住居環境科
HOUSING ENVIRONMENT COURSE



デザインと機能に優れた建築空間を目指す
定員20名

実験・実習を重視した学びのしくみ

近年の技術革新は日進月歩。あらゆる業界において、高いレベルで対応していける技術者が求められています。当校ではこうした時代に即応し、単に教育だけではなく、実社会で即戦力となっていけるよう実際の仕事の現場を意識した教育訓練を行っています。各科では技能や技術を習得する「実技(実験・実習)」と理論を学ぶ「学科」の一体化した独自のカリキュラムを展開。実験・実習を重視した実践的な教育となっています。

POINT ① 少人数による教育訓練

POINT ② 充実した実験・実習設備

POINT ③ 就職実績の高いカリキュラム

入校時必要経費 (平成28年度現行)

入校料 **169,200円** 授業料 **195,000円**
(前期分)【年額390,000円】

入試&オープンキャンパス情報

お問い合わせ

学務援助課入試係

電話 0186-42-5700 (代表)
FAX 0186-42-5719



◆平成28年度自己推薦入校試験 (B日程)
実施日 平成29年3月11日(土)

*詳細につきましては、HPまたは、お電話でお問い合わせください。

◆平成29年度オープンキャンパス実施日程

- 第1回 平成29年6月25日(日)
- 第2回 平成29年7月23日(日)
- 第3回 平成29年8月6日(日)
- 第4回 平成29年9月16日(土)学園祭同時開催

東京福祉大学 (通信課程) 併修校 学校法人伊藤学園 秋田社会福祉専門学校

社会福祉学科 4年

大学併修 4年コース

東京福祉大学 通信教育課程
社会福祉学部 社会福祉学科
に同時入学

- 社会福祉士(国)受験資格
- 精神保健福祉士(国)受験資格
- 社会福祉主事任用資格
- メンタルケア心理士資格
- ピアヘルパー資格
- 家族療法カウンセラー資格 他

保育児童福祉学科 4年 3年

大学併修 4年コース

東京福祉大学 通信教育課程
社会福祉学部 保育児童学科
に同時入学

- 幼稚園教諭一種免許状
- 保育士資格
- 小学校教諭一種免許状
- 幼児体育指導者資格 他

短大併修 3年コース 新設

東京福祉大学 通信教育課程 短期大学部
こども学科に同時入学

- 幼稚園教諭二種免許状
- 保育士資格
- 社会福祉主事任用資格
- ピアヘルパー資格 他

総合福祉学科 2年

医薬販売・福祉 2年コース

- 登録販売者資格
- 介護職員初任者研修
- 健康管理士一般指導員 他

健康福祉 2年コース 新設

- 日本体育協会公認スポーツリーダー
- 障害者スポーツ指導員
- 福祉用具専門相談員 他

介護・医療事務 2年コース 新設

- 介護事務管理士技能認定試験
- 医療事務管理士技能認定試験
- 健康管理士一般指導員 他

目指す 仕事・職場

公務員、各種福祉施設、各種社会福祉法人、各種高齢者施設、介護保険事務所、障害者支援施設、病院、保育園、幼稚園、学童保育施設、各種児童施設、各種スポーツ施設、薬局、ドラッグストア、小売業、一般企業 等

北海道情報大学 (通信教育部) 併修校 東京福祉大学 (通信課程) 短期大学部 併修校 学校法人伊藤学園 秋田情報ビジネス専門学校

経営情報科 4年

北海道情報大学 (通信教育部) W入学

4年間で大学と専門学校を同時卒業! 即戦力となる大卒技術者を育成

コンピュータと
経営の高度な知識の
習得で専門家に!

- システムエンジニア
- ネットワークエンジニア
- システム運用エンジニア
- 医療情報システム技術者



こども総合科 3年

東京福祉大学 (通信課程) 短期大学部 W入学

短大+1年の資格取得で
ワンランク上の保育士・
幼稚園教諭になる

- 保育士
- 幼稚園教諭
- 認定こども園職員
- 児童福祉施設職員



専門コース

情報システム科 2年

- システムエンジニア
- ネットワークエンジニア
- システム運用エンジニア
- プログラマ

医療福祉ビジネス科 2年

- 医療事務
- 調剤薬局事務
- 歯科医院スタッフ
- 医師事務作業補助者

総合ビジネス科 2年

登録販売者コース

- 登録販売者
- ドラッグストアスタッフ
- 調剤薬局事務
- 薬局スタッフ

キャリアデザインコース

- 一般事務
- 経理事務
- 営業・販売スタッフ

ファッションコース

- ショップスタッフ
- パタンナー
- ドレスコーディネーター

ペットビジネス科トリマーコース 2年

- トリマー
- ペットショップスタッフ
- 動物病院スタッフ
- ペットホテルスタッフ

ビジネス専攻科 1年

目指す仕事により各種分野を選択
することが可能です

県内交通費本校負担

開催日2日前までに下記TELまでお申し込み下さい。

学校説明会

平成29年 2/11 土 祝

開催時間
秋田情報ビジネス専門学校
10:00 ▶ 11:30
秋田社会福祉専門学校
13:30 ▶ 15:00

体験入学会

平成29年 3/27 月

開催時間
秋田情報ビジネス専門学校
9:30 ▶ 12:30
秋田社会福祉専門学校
13:30 ▶ 15:30

学校法人伊藤学園

秋田社会福祉専門学校
秋田情報ビジネス専門学校

- 〒010-0001 秋田市中通四丁目3-11(秋田駅から徒歩5分)
- ホームページアドレス <http://www.ito-gakuen.ac.jp>
- お問い合わせ・資料請求は

☎ 0120-79-5033



学校法人 コア学園
ABC 秋田コア ビジネスカレッジ

～秋田県唯一 文部科学大臣「職業実践専門課程」認定校～



就職内定率 **100%** (県内88.2%)

就職に強い理由

- ①専任スタッフがいる
- ②実践的な教育(企業連携、長期実習)
- ③インターンシップから内定獲得

目指す職業

システムエンジニア、ネットワークエンジニア、Webデザイナー、スマートフォンアプリ開発エンジニア、プログラマー、DTPデザイナー、グラフィックデザイナー、映像クリエイター、経理事務、一般事務、ファイナンシャル・プランナー、販売スタッフ、ホテルスタッフ、ウェディングプランナー、医療事務、ドクターズクラーク、介護スタッフ など

高度IT
エンジニア科
(3年制)

情報
システム科
(2年制)

ビジネス
キャリア科
(2年制)

ホテル・
ブライダル科
(2年制)

医療事務科
(2年制)



オープンキャンパス

1/21(土)・2/11(土)
3/25(土)
10:00~12:00

進路変更支援制度

大学入試センター試験・就職試験を受験後、
進路変更を希望する方が利用できる特別な制度。

書類審査のみ

入学選考料、入学金免除

学校法人 コア学園 **秋田コア ビジネスカレッジ**

- 〒010-0001 秋田市中通五丁目4番12号
- ホームページ <http://www.core-akita.ac.jp/abc/>
- お問い合わせ・資料請求は ☎ 0120-124-212





学校法人 コア学園

秋田リハビリテーション学院

～秋田県内初の理学療法士養成専門学校・高度専門士養成教育機関～

理学療法学科
(4年課程)
定員40名



理学療法士とは？

(Physical Therapist : PT)

寝返る、起き上がる、立ち上がる、歩くなどの日常生活を行う上で基本となる動作の改善を目指す。関節可動域の拡大、筋力強化、麻痺の回復、痛みの軽減など運動機能に直接働きかける治療法から、動作練習、歩行練習などの能力向上を目指す治療法まで、動作改善に必要な技術を用いて、利用者の日常生活の自立を目指す。

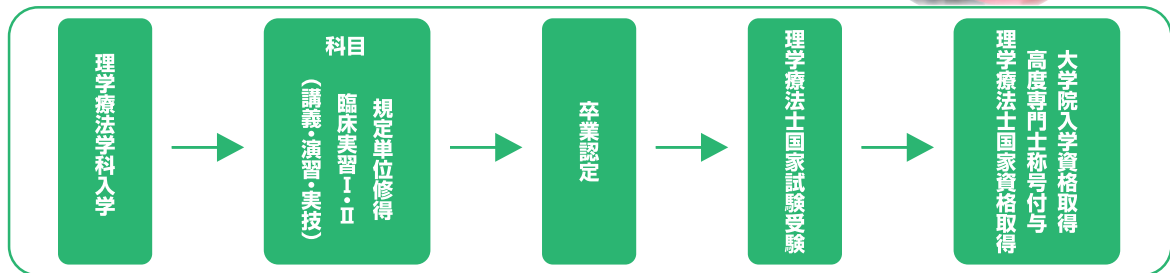


理学療法士の就職先は？

一般病院、大学病院、診療所、クリニック、介護老人保健施設、軽費老人ホーム、特別養護老人ホーム、通所介護施設、居宅介護支援事業所、在宅での訪問理学療法、スポーツ・健康施設など



理学療法士になるためには？



入試説明会

1/22(日)

13:30～

※要予約

一般入試

前期 2/11(土)

願書受付 1/23～2/2

後期 3/11(土)

願書受付 2/22～3/3

オープンキャンパス

3/26(日)

13:30～

※要予約

学校法人 コア学園 **秋田リハビリテーション学院**

■〒010-0065 秋田市茨島一丁目4番80号(学校法人 コア学園 学園本部)

■ホームページ <http://www.core-akita.ac.jp/arc/>

■お問い合わせ・資料請求は ☎ 0120-124-212



秋田公立美術大学

秋田公立美術大学は、「新しい芸術領域を創造し、挑戦する大学」、「秋田の伝統・文化をいかに発展させる大学」、「秋田から世界へ発信するグローバル人材を育成する大学」、「まちづくりに貢献し、地域社会とともに歩む大学」を4つの基本理念に、地域とともに歩む公立大学として開学しました。



大学所在地
〒010-1632
秋田市新屋大川町12-3
Tel.018-888-8100
Fax.018-888-8101



進路・就職支援

■キャリア教育科目の開講

進路・就職活動に向け、授業としてキャリア教育科目を開講し、社会人として求められる知識や情報処理能力、プレゼンテーション能力などを身につけます。

■支援スタッフによるきめ細かな指導

専門的就職支援スタッフを配置し、新たな就職先の開拓を行うほか、個別面談・模擬面接などを通じて、学生の活動をきめ細かに支援します。

■学内外の支援体制

就職支援スタッフや各教職員が連携を図りながら学生の進路支援を進めます。また、県内企業を中心に組織された大学支援組織「あきびネット」と連携し、産業界の動向や雇用体制について理解を深めます。

特色1 新たな枠組みの5専攻

これからの時代にふさわしい学びを実現するため、素材や技法によらない新しい考え方で5つの専攻を設けています。

特色2 5-2-1の教育システム

入学後、はじめから専攻に分かれるのではなく、1、2年次は5つの専攻の枠組みを超え、美術やデザインに共通する知識と基礎を横断的に学びます。2年次に志望と適性から2つの専攻を選択して学び、3年次から1つの専攻を選択して専門性を高める「5-2-1」の教育を実践します。

特色3 総合入試

絵画や彫刻、デザインなど、芸術のジャンル別による入試を行わず、学部一括で学生を募集する「総合入試」を実施しています。

教職・博物館学芸員課程

必要な単位を修得することで、「中学校教諭一種免許状(美術)」「高等学校教諭一種免許状(美術・工芸)」「博物館学芸員資格」を取得することができます。

大学院複合芸術研究科

平成29年4月開学

本学は現代芸術を「複合」の視点から研究する大学院複合芸術研究科を平成29年4月に開設します。大学院は、本学の理念である「新しい芸術領域の創造」をより具現化するため、大学で学んだ表現手法を他の芸術領域や芸術以外の領域と複合させ、現代芸術領域における高度な芸術表現を通じて社会に変化をもたらす、地域に貢献する人材の育成を目指します。

2専攻を組み合わせるハイブリッド人材育成

5つの専攻は、絵画、彫刻、工芸、デザインなど、既存の美術大学とは異なる専攻区分としています。4年間の学びでは、1つの専門分野だけでなく、5つの専攻の横断的な学びと、深く広い基礎教育を背景に、2つの専攻を組み合わせるハイブリッド教育により、未知の領域を切り開く力の獲得をめざします。

■アーツ&ルーツ専攻

■ビジュアルアーツ専攻

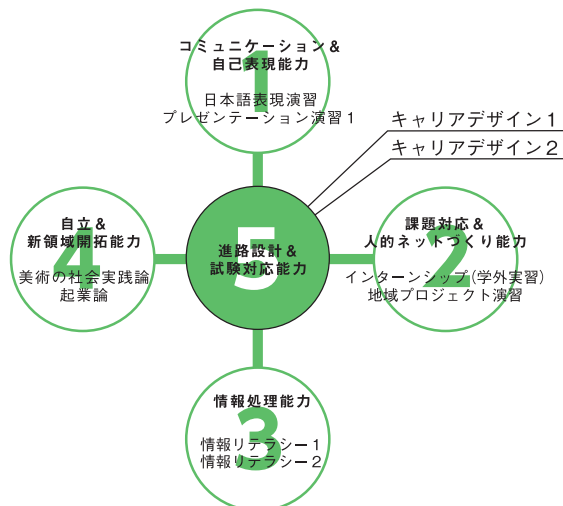
■ものづくりデザイン専攻

■コミュニケーションデザイン専攻

■景観デザイン専攻



秋田公立美術大学のキャリア支援計画



■キャリア教育・職業教育の方針

5つの専攻を設置し、アーティストやデザイナー、研究者・教員等を育成する専門性の高い知識や技術を学ぶ豊富なカリキュラムの科目とともに、キャリア教育科目により幅広いキャリア支援を行います。

また、専門家養成に加えて、大学で身につけた芸術やデザインに関する技能を一般職の職場において活かしていく学生も視野に入れた就職支援を行います。

■キャリアデザインの位置づけ

「キャリア教育科目(群)」は、「教養科目」と「専門科目(教職課程科目と博物館学芸員課程科目を含む)」を関係づけ、学生自らの進路設計に資する、本学教育課程3本柱のひとつです。

自立した社会人としての基礎能力を身につけるための課程です。